

乗車前点検ポイント

自転車を安全にお使いいただくために、必ず以下の点検を行い、安全を確かめてから乗車頂きますようお願いいたします。もし異常が生じていた場合、そのまま乗車すると、大変危険です。異常を発見したら、そのまま乗車せず、必ず販売店で修理をお受けください。また、転倒などにより大きな衝撃を受けた場合は必ず販売店で点検・修理をお受けください。

重要点検 サークル錠

- オレンジ色のセーフティボタンを押さずにツマミを押し下げても、施錠できずに途中で止まること
- 後輪錠のツマミが最上部まで上がりきっていること
- ハンドルロック装備車
 - 後輪錠を操作したときに、施錠時に「赤」、開錠時に「青」を確実に表示すること
 - 開錠時、ハンドルの動きに引っかかりがないこと

重要点検 サドル

- サドルを動かしてもガタつきがないこと
- 力を入れても回ったり抜けがないこと

重要点検 ハンドル・グリップ

- ハンドルに上下左右に力を加えても回ったり、抜けたりしないこと
- グリップに力を加えても回ったり、抜けたりしないこと

走行中にハンドルがゆるんだり、グリップが外れると、ハンドル操作ができなくなったり、またハンドルを維持できなくなったりして、転倒のおそれがあり危険です。特にフロントの重い子乗せ車両で発生するケースが多くなっております。

重要点検 前後ブレーキ

- ブレーキレバーを握って隙間が1/2 ~ 1/3になるまでによくきくこと
- ブレーキワイヤーにサビ、切れがないこと
- ブレーキシューに摩耗がないこと

日常点検 タイヤ

- 摩耗していないこと
- 十分空気が入っていて、タイヤ側面に表示してある推奨空気圧になっていること。

日常点検 配線

- ブレーキワイヤー、シフトワイヤー、スイッチハーネスなど配線が外れたり損傷していないこと。

日常点検 ネジの緩み

- 自転車を10cmほど持ち上げて軽く落とし、異音が生じていないこと。各用品の固定ネジが緩んでいると異音が生ずる場合があります。

日常点検 チェーン

- たるんでいないこと

日常点検 ハンドル・サドルポスト

- 限界標識より上げていないこと

日常点検 クランク

- ひび、割れ、曲がりがないこと

日常点検 ペダル

- がたついていないこと

日常点検 車輪

- スポークやニップルにゆるみ、切れ、外れ、変形がないこと

日常点検 ベル・ブザー

- ベル、ブザーが必ず装着されており、よく鳴ること。

ランプ

- 明るく点灯し、3 ~ 10m前方の路面を照らすこと。

テールランプ

- 夜間使用時には点灯または点滅すること。(テールランプ装備車のみ)

リフレクタ

- 必ず装着されており、反射面の向いている方向からよく見えること。(リヤリフレクタは後方を向いていること) 反射面の汚れ割れがないこと。

重要点検 ハンドルロック装備車

- ハンドルロックのケースが破損していないこと
- 後輪錠を操作したときに、施錠時に「赤」、開錠時に「青」を確実に表示すること
- 開錠時、ハンドルの動きに引っかかりがないこと
- ハンドルロックと後輪錠を繋ぐ運動ワイヤーに濡れ、屈曲がないこと

重要点検 ブレーキ本体

- 前ブレーキが、前ホークに対してガタつきがないこと
- 前ブレーキを真横から見て、ブレーキのアームに変形がないこと

前ブレーキにガタつきや変形があるまま使用を続けると、ブレーキが破損して、ブレーキが効かなくなったり、外れたブレーキが車輪に巻き込まれることで、車輪がロックし、転倒のおそれがあります。特に車重の重い電動車や子乗せ車両で発生するケースが多くなっております。

重要点検 フレーム・前ホーク

- ハンドルを真直ぐにして、車両の真横から見て、前ホークが変形していないこと
- フレームのパイプのつなぎ目にきれつが生じていないこと
- 前ホークの根元に、ふくれ、きれつ、変形による塗装のはがれがないこと

転倒や衝突による変形、きれつ、ふくれ、塗装のはがれにより、走行中にフレーム、前ホークなどが破損することでバランスをくずし、転倒のおそれがあり、危険です。特に車重の重い電動車や子乗せ車両で発生するケースが多くなっております。

